

1. 第二次審査 全体総括

本プロポーザルは、こども園、小学校、中学校、保護者、地域が一体となり、「オール芸西」で子どもたちを育むための拠点施設として教育施設を集約するという、村の骨格を形成する重要な事業です。このような重要な事業に対し、応募をしていただいた皆様に、心より敬意と御礼を申し上げます。

第二次審査では、第一次審査において選定された 3 者を対象にプレゼンテーションとヒアリングを実施しました。いずれの提案者も、芸西村の現状や地域性を深く読み取り、これからの教育のカタチを建築に昇華させるレベルの高い技術と提案力を有していることを確認することができました。第二次審査にお越しいただきました提案者の皆様に、改めて御礼を申し上げます。

2. 最優秀者の選定理由

いずれの提案者も高い技術および提案力を有していることを確認いたしました。その中でも最優秀者は、空間が明快に整理され、柔軟に変更可能な教室計画やワークスペースによる多様な学習環境の提案が高く評価されました。また、敷地南側の農地への風の影響や、解体工事における学校生活への影響を最小限に抑える具体的な提案があったことも評価されました。さらに、芸西村の関係者のニーズを取り入れていこうとする姿勢が明確であり、芸西村とともに基本設計を進める事業者として最も優れていることから最優秀者として選定いたしました。

3. 最優秀者への期待

最優秀者におかれましては、本プロポーザルでの技術提案をベースとしつつ、特に以下の点について芸西村と十分な協議を重ねられ、芸西村の子どもたちが「わたしの学校」と思える学校づくりを進めていただくことを期待します。

(1) 対話型プロセスを重視した教室計画

フレキシブルな教室計画やワークスペースは、運用において混乱を招くリスクもあるため、教員や児童をはじめとする利用者が使いこなせるよう、ともに学び合い、創り上げていく対話型プロセスを重視すること。

(2) 徹底した安全性の追求

幅の広い年齢層の子どもたちの身体寸法や行動特性を考慮し、安全性の高い建築や家具のデザインとすること。また、地震等の自然災害に対しても、単に建築基準を満たすにとどまらず、本質的に安全な建物のあり方を追求すること。

(3) 気候変動を考慮した屋外環境

近年の猛暑や大雨などの気候変動を考慮し、屋外活動や行事が可能な限り円滑に行えるよう、日射を遮る工夫や半屋外空間の設置等を検討すること。

(4) 収納スペースとメンテナンス性の確保

学校で取り扱う教材の変化や将来の施設複合化を見据えて十分な収納スペースを確保するとともに、日常的な掃除やメンテナンスが容易な設計とすること。

以上